



ET
ニュース

1964 NOV No. 91

CONTESSA 1300 IN PARIS AUTO SHOW



エッフェル塔をバックにした、コンテッサ1300とパリジェンヌ



1964. 10. 1 より11日間パリで開かれた
第51回「パリ国際オートショー」に出品されたコンテッサ1300



10月2日ショーに来観した
ポンピドーフランス首相と歓談する日野自動車工業松方社長

去る10月1日から11日間、パリのポトヴェルサイユの会場で開かれた第51回パリ国際オートサロンに、世界17カ国、119のメッカからの出品車と肩を並べて、東洋から始めて日野コンテッサ1300 2台が出品展示され反響をまき起した。

欧米の各車に一歩もひけをとらぬ優雅なスタイルに、購入希望者、販売代理店希望者があとをひかなかった。

日野自動車工業松方社長は、オートサロン出品に先だち、9月25日、プロニュの森、プレカトラン亭にフランス自動車業界の要人や、一流新聞雑誌、自動車業界紙を招いてプレミアムショーを開いたが、各紙は一斉に、東洋の使節、日野コンテッサは、スタイル、性能ともに、特筆すべき車であると論評、注目を集めた。各紙の記事からル・モンド紙中型車生産のメッカであるヨーロッパでも、日野コンテッサの進出は、脅威である。価格は、日本で、7350フラン(650,000円)だが、10,000フラン(884,000円)以下になるだろう、ヨーロッパ市場開拓を始めた日野自動車は、地球の半分以上も離れているところで車を購入する場合に生じる障害を克服するため、コンテッサ車種の必要部品をパリに貯蔵し、フランスのいかなるところへも、24時間で供給できることは特筆すべきである。

ニューヨークヘラルド、トリビュン紙国際版、日野コンテッサのスタイルは特筆すべきだ、日野が迅速な部品供給を含めたアフタサービス網をヨーロッパに確立した最初の会社であることは大きい、これからの海外進出を試みる会社に、一つの指針を与えたものとして注目すべきだろう。ラ・ルギュ、ド・ロトモピル紙は今年末に最初の輸入車がお目見得することになるだろうと紹介しているほか、レ・キューブ誌は日野自動車は、1910年に創業している歴史のある会社である。1953年以來4CVの製造を行なった。

最初に発売したコンテッサは、ルノ4CVから何かを得たものだが、コンテッサ1300は、むしろシリカ1000の影響をうけているようだ。